

日時：2015年3月9日（月）15：00～18：00

場所：東洋大学8号館 第2会議室

出席者：浮谷秀一理事長、中村真副理事長、山崎晴美、渡邊芳之、松田英子、小塩真司、家島明彦、松田浩平

事務局：加藤司（事務局長）、太幡直也

委任：二宮克美

日本パーソナリティ心理学会第114回常任理事会

報告事項

I 理事長挨拶

II 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊）

(1) 機関誌編集委員会の開催状況について

* 「パーソナリティ研究」第23巻第2号の訂正記事掲載を承認した。

12月末までに会員宛発送

掲載論文数は8本（原著2，ショートレポート6），ページ数は49頁

* 「パーソナリティ研究」第23巻第3号の掲載論文

(2) 「パーソナリティ研究」の編集発行状況について

8本（依頼論文1，原著5，ショートレポート2）を掲載

ページ数は81ページを予定。予定通り3月末の発行。

論文番号	投稿番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
23-3-1		依頼論文	Assessing the Personality Trait Spectrum in Youth: Current Status and Challenges	Filip De Fruyt		2014/11/20
23-3-2	A-359	原著	共感性と親和動機による“かわいい”感情の予測モデル構築	金井嘉宏	2014/4/18	2014/9/15
23-3-3	A-362	原著	パーソナリティ障害特性における被拒絶感が自己認知および他者からの評価に対する欲求に及ぼす影響——自己関連動機のネガティブな効果の検討—	市川玲子	2014/5/15	2014/9/15
23-3-4	A-334	原著	ロマンティック幻想の測定—潜在尺度、顕在尺度の乖離と理想尺度—	麻生 奈央子	2013/10/9	2014/9/30
23-3-5	A-357	原著	情報プライバシーの測定：プライバシー次元尺度(MPS)の作成	佐藤広英	2014/4/14	2014/11/12
23-3-6	A-361	原著	アタッチメントスタイルと自己イメージの関連—20答法による探索的検討	田附 紘平	2014/4/27	2014/11/19
23-3-7	S-275	ショートレポート	日常的な利他性とパーソナリティ特性がホスピタリティに及ぼす影響	小田亮	2014/6/19	2014/10/27
23-3-8	S-272	ショートレポート	大学生を対象とした日本語版学業的満足遅延尺度の開発	中西 満悠	2014/4/8	2014/11/5

(3) 「パーソナリティ研究」第24巻第1号以降の編集状況について

論文は6本、審査中の論文は32本、うち3本が修正採択修正中

(4) 投稿状況、審査状況について

1) 投稿状況について

昨年3月から今年2月25日までの投稿状況

年	月	原著	ショートレポート	合計	備考
2014	3	6	3	9	
	4	6	4	10	
	5	1	0	1	
	6	5	1	6	
	7	3	1	4	
	8	4	3	7	
	9	3	3	6	
	10	0	0	0	
	11	3	3	6	
	12	0	2	2	
2015	1	2	2	4	
	2	2	5	7	2/25まで
合計		35	27	62	

2) 審査状況について

昨年3月から今年2月25日までの審査状況

年月	採択	再審査	不採択	投稿取下	備考
2014/3	5	15	4	1	
4	1	5	2	0	
5	3	5	0	0	
6	0	17	4	0	
7	1	4	2	1	
8	2	8	2	1	
9	3	6	2	4	
10	1	6	2	0	
11	3	10	2	1	
12	2	4	1	0	
2015/1	3	7	3	0	
2	1	4	2	0	2/25まで
合計	25	91	26	8	

(4) その他

1) 論文訂正の掲載について

2012年の第20巻第3号に掲載されたショートレポートにおいて修正を出すことになった。

2 経常的研究交流委員会（代理：加藤）

(1) 第23回大会開催時の委員会企画シンポジウム

1) パーソナリティによる反社会的行動の説明

司会・担当：吉澤寛之（岐阜大学）

話題提供：酒井厚（山梨大学）・大隅尚広（広島修道大学）・中川知宏（近畿大学）
指定討論：永房典之（新渡戸文化短期大学）

2) 現代青年における友人・異性との関係はどのようなものか

司会・担当：畑野快（日本学術振興会／京都大学）・中谷陽輔（同志社大学）

話題提供：石本雄真（立命館大学）・本田周二（島根大学）・谷口淳一（帝塚山大学）

指定討論：岡田努（金沢大学）

(2) 大会開催時以外の時期のシンポジウム

日時：2015年3月15日（日）14:30～17:00

場所：東洋大学白山キャンパス1310教室

表題：がまんの科学：行動遺伝学と心理学から衝動を解き明かす

司会・担当：原田知佳（名城大学）・小林麻衣（東洋大学）

話題提供：高橋雄介（京都大学）・森口佑介（上越教育大学）・及川昌典（同志社大学）

指定討論：長谷川寿一（東京大学）

(3) シンポジウム（案）

第24回大会（北海道教育大学）

いじめの心理学ーパーソナリティ心理学はいじめ問題にどうアプローチするかー

(4) 次回委員会開催予定（3月のシンポジウム開催直前）

日時：2015年3月15日（日）13:00～14:10 場所：東洋大学白山キャンパス1310教室

(5) 委員会構成について

委員長：二宮克美（愛知学院大学）（担当理事在任中）

副委員長：本田周二（島根大学）（委員任期中）

3年目委員（24回大会まで）：畑野快（京都大学）、原田知佳（名城大学）、永井智（立正大学）、松下健（富山大学附属病院）

2年目委員（25回大会まで）：石井国雄（明治学院大学）、柄本健太郎（東京学芸大学）、小林麻衣（東洋大学）、本田周二（島根大学）、山本ちか（名古屋文理大学短大部）

1年目委員（26回大会まで）：鈴木公啓（東京未来大学）、中山真（鈴鹿短期大学）、服部陽介（京都学園大学）、二村郁美（名古屋大学）、堀内由樹子（お茶の水女子大学）

3 広報委員会（家島）

(1) YPP2014

日時：8月20日

会場：北海道教育大学札幌駅前サテライト

委員長：後藤崇志（京都大学）

委員：村木良孝（東京大学）、沼田真美（目白大学）、清水順子（北星学園大学）

(2) 大会企画

テーマと登壇者の選定中

(3) 新規委員

島義弘（鹿児島大学）、野崎優樹（京都大学）、藤井勉（誠信女子大学校）、渡邊ひとみ（同志社大学）

4 国際交流委員会（小塩）

- (1) 依頼論文が掲載された
- (2) 次回大会において、招待講演者を呼べるかどうか検討中である
加えて、2016年度の人選を検討している

5 学会活性化委員会（松田英子）

(1) 優秀大会発表賞

1) 第23回大会優秀大会発表賞受賞候補者の推薦について

1次審査

1次審査 3.8以上の10件を選出した。

2次審査

*菅原ますみ・田中麻未・酒井厚・真栄城和美・齊藤彩

生涯発達におけるクオリティ・オブ・ライフと精神的健康（4）—就学前期におけるパーソナリティの加齢変化：遺伝と環境の影響性の検討—

*松本昇・望月聡

自伝的記憶の具体性の減少は抑うつが悪化する—非臨床群における CaRFAX モデルの縦断的検討—

*古村健太郎

コミットメントが親密な関係における感情経験に与える影響

以上承認された。

(2) 学会デビュー割

1) 第23回大会報告

2万6千円の補助金を出した。

2) 第24回大会の予定

大会主催校の意向により、学会デビュー割は取りやめた。

(3) 委員会構成

*任期3年

委員長：松田英子（江戸川大学）

副委員長（2014年度～2015年度大会）：三保紀裕（京都学園大学）

委員：東海林麗香（山梨大学）、堀毛一也（東洋大学）、森津太子（放送大学）、内藤まゆみ（高崎経済大学）、中村真（江戸川大学）、中谷陽輔（同志社大学）、大会主催校推薦委員：平野直己（北海道教育大学）

以上承認された

6 選挙管理委員会（中村）

(1) 委員構成

委員長：中村真（江戸川大学）、委員：加藤司（東洋大学）、太幡直也（常磐大学）、松井洋（川村学園女子大学）、原島雅之（愛国学園大学）、薊理津子（聖心女子大学）

※以上6名は既に承認済みであるが、都合により太幡直也が退任した

(2) 選挙日程(案)が提示された

2月：国際文献より、選挙実施費用に関するある程度正確な見積書の呈示を依頼(被選挙権を持つ会員が未定のため)

2月：見積書に関して、常任理事会に報告の上、審議

2月・3月：メールニュースにて、選挙の公示・投票日の公示。特に、被選挙権に関する連絡、できる限り早めに納める必要がある旨の連絡。

3月：常任理事会の開催

4月7日：選挙台帳の確定(3月末日までに会費を納めている会員のみ、被選挙権がある)

4月30日から順次：選挙台帳に基づき、被選挙権のある会員に投票用紙の配布

5月1日から5月22日(必着)：投票期間

5月23日・24日：開票日(東洋大学) 22日必着の場合

5月30日・31日：開票日(東洋大学) 29日必着の場合(以下、1週間ごとにずれる)

6月12日まで：新理事・新監事から、受諾の有無の確認

6月12日から6月25日(必着)：投票用紙の配布および理事長・常任理事選挙、投票日

6月27日・28日：理事長・常任理事選挙、開票日

6月29日から7月10日：理事長・常任理事、受諾の有無の確認

7月11日・12日、18日・19日、25日・26日：常任理事会の開催、選挙結果の報告

8月：理事会での報告

8月：総会にて報告

以上の手続きが承認された。

必着日が5月26日になった。

7 各種電子化検討小委員会(松田浩平)

継続、審議中。

8 学会20年史編纂委員会

9 論文賞創設小委員会(中村)

(1) 委員構成

委員長：中村真(江戸川大学)、

委員：渡邊芳之(帯広畜産大学)、松田英子(江戸川大学)

(2) 学会賞創設について

以下のような規程の細則が提案された。

日本パーソナリティ心理学会学会賞規程

第1条 日本パーソナリティ心理学会は、パーソナリティ心理学の振興と研究の発展を図るために、日本パーソナリティ心理学会学会賞(以下、学会賞という)を設ける。

第2条 学会賞は、学会賞と奨励賞からなり、パーソナリティ心理学の研究に大きく貢献

した会員に授与する。

第3条 学会賞は、本学会機関誌『パーソナリティ研究』所載の論文を対象とする。このうち、学会

賞は「原著」から、また、奨励賞は「ショートレポート」から選考するものとする。

第4条 学会賞の選考のために、学会賞選考委員会（以下、委員会という）を設置する。

- 2 委員長は、常任理事の中から理事長が指名する。
- 3 委員長は、常任理事会の承認を得て委員を指名する。
- 4 委員の任期は、3年間とする。
- 5 委員会は、学会賞の候補を選定し、常任理事会に推薦する。

第5条 学会賞の授与は、年次大会の会員総会において理事長が行う。

第6条 学会賞の選考細則は別に定める。

付則1 本規程は平成26年10月4日より施行する。

以上は、すでに承認されている。

4. 学会賞の選考細則について（案）

日本パーソナリティ心理学会学会賞選考細則

第1条 学会賞の選考は、第1次選考と第2次選考により行う。

2 学会賞は、本学会機関誌『パーソナリティ研究』所載の論文を審査対象とし、巻ごとに「原著」から学会賞、「ショートレポート」から奨励賞を選考するものとする。

第2条 第1次選考は、理事の推薦に基づき、学会賞選考委員会において行う。

2 理事による推薦は学会賞および奨励賞とも1件以内とし、候補者氏名、推薦論文名、推薦理由、推薦人氏名を明記するものとする。

3 理事により推薦された論文の執筆者は、その巻における学会賞の選考委員になることができない。

4 学会賞選考委員会は、第1次選考の結果に基づき、学会賞および奨励賞の候補を常任理事会に推薦する。

第3条 第2次選考は常任理事会において行う。

第4条 学会賞、奨励賞各1件につき賞状および副賞として賞金を授与する。

- 2 副賞は、学会賞1件につき5万円、奨励賞1件につき3万円とする。

付則1 本規程は平成27年3月9日より施行する。

5. 学会賞選考の開始時期

第1回学会賞の選考を『パーソナリティ研究』第24巻の所載論文を対象に行うこととし、以降、巻ごとに順次選考を行う。

以上承認され、細則は非公開とする。

受賞者の受賞講演に関しては、委員会で検討する。

III 日本心理学諸学会連合（浮谷理事長）

1 日本心理学諸学会連合について

12月21日に日本心理学諸学会連合が開催され、連合における議事が報告された。

国資格に関して、提案した法案が廃案になった旨、報告があった。現在、再提出を検討中である。

2 心理学検定について

総受験者数は3,756名であった。今年度は8月23日に実施予定である。

理事長推薦の鈴木公啓（東京未来大学）が心理学検定委員として、本学会より推薦した。

IV 事務局報告（加藤）

加藤事務局長より、これまでの議事録を含めたすべての資料を保存するための外付けハードの購入案が提案され、承認された。

V 第24回大会準備状況について（代理：加藤）

特になし。

VI その他

なし

審議事項

I 第113回常任理事会議事録承認に関する件

承認された。

II 新入会員に関する件

1 新入会希望者の件

(1) ML承認済み

一般会員：8名

院生会員：10名

以上、追認された。

以上、以上の承認を受けて、3月3日現在、会員総数は911名である（一般会員623名、院生会員274名、学生会員5名、名誉会員8名、賛助会員1名）。

2 退会希望者

3名が承認された

3 会費未納に伴う退会処分リストが提示された。

Ⅲ その他

1 名誉会員推挙の件

杉山憲司を名誉会員に推挙することが決定した。

次回常任理事会は6月7日あるいは6月13日の15:00からとした
次々回の常任理事会は7月25日15:00からとした
いずれも東洋大学で開催される